

東京交響楽団 英文ロゴガイドライン

2009年4月

マークとロゴの組み合わせは、
基本はマークの下にロゴを組んだものにしてください。

色数制限などの余程特別な理由が無い限り、色はマークは紺で、ロゴはスミで指定してください。しかし新聞広告など、やむを得ない場合はスミで表現をしてください。

マークとロゴを紺で表現するのは、紺1色刷りでない限り避けてください。
これは、紺とスミの組み合わせでシャープに見えているものが、2色使いに比べて紺1色だとぼやっとして見えるからです。どうしても紺1色の場合、まだ、紺地に白抜きにしてください。

<マーク&ロゴのレギュレーションについて>

データをそのまま使用する場合は何も問題ありませんが、新たにマークとロゴの組み合わせをするときは、規定に沿って組んでください。

この組み合わせ以外に新しく組んだり、マークとロゴの間隔を変えたりしないようにしてください。色指定もありますので、紺の色もこれに則って使用してください。

また、最小で使える大きさですが、ロゴタイプAとロゴタイプCは、左右幅30mm以下では使用しないでください。これ以上小さくすると文字が読めなくなります。
ロゴタイプBのみ左右幅15mmまでとしてください。3段組にしている分、15mmまでは読むことができます。

紺地に白抜きのシンボルロゴは、紺地ですが、スミ地の場合にも使用できますし、写真の中にシンボルロゴを入れる場合も、白抜きで使用可です。